毎日新聞　平成 27 年 8 月 15 日

2私立大が連携協定

長崎国際と長崎外語

佐世保市の長崎国際大（安部直樹学長）と長崎市の長崎外国語大（石川昭仁学長）は、連携して研究や人材育成を図る包括協定を結んだ。県内の私立大同士の協定は初めてといい、学生の受け入れ・単位互換や教員の人事交流、施設の共同利用などを進める。

単科大学の長崎外国語大に対し、長崎国際大は人間社会学部、健康管理学部、薬学部を擁する。長崎国際大であった調印式で、石川学長はアジアの留学生確保には観光や福祉の授業が重要として「留学生の共同受け入れも考えられる」と述べた。安部学長も「グローバル社会の基礎は語学力」と、外国語教育の補完を期待した。

両大学は連携推進委員会を設け、調整にあたる。単位互換は来年度以降の導入を計画している。【峰下喜之】

長崎短大は青年会議所と 佐世保

長崎短大（佐世保市椎木町）と佐世保青年会議所は、地域貢献や人材育成の促進を目的とする包括連携協定を結んだ。

長崎短大にとって大学以外との連携協定は、佐世保市と5月に結んで以来2件目。学内であった調印式で、安部恵美子学長が「地域の若者を地域で育てるのが地方大学の役割。産官学で取り組みたい」と狙いを語った。

昨年から「社会人の基礎力」を養成するため、青年会議所会員から講義を受けたり、会員企業でのフィールドワークに取り組んできた。連携事項を①教育・研究に対する支援②人材の受け入れ・育成③市政運営の協力――などと明文化し、組織的な対応の迅速化や深化を図るという。佐世保青年会議所の谷川辰巳理事長は「若い人が佐世保に残っていくことにもつなげたい」と期待を込めた。【峰下喜之】